①　プラスチック回収・再商品化の推進

＜事例紹介２＞

「再生プラスチックの回収量拡大・質の向上に向けて」

株式会社富山環境整備

社長室経営企画室 専任次長　今井 麻美

令和８年度中部地方資源循環自治体フォーラム
個別テーマセッション　テーマ① プラスチック回収・再商品化の促進

（事例紹介）
再生プラスチックの回収量拡大・質の向上に向けて

2026年11月17日

株式会社 富山環境整備

1.会社概要

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

企業情報

2026年4月1日現在

代表者：代表取締役　松浦　英樹
設　立：昭和47年（1972年）
資本金：20,000,000円
売上高：458億円（2025年/53期）
社員数：301名（パート含む）
事業所・営業所：

- 本社（富山県富山市婦中町吉谷3-3）
- 吉谷事業所（富山県富山市婦中町吉谷3-3）
- エコタウン事業所（富山県富山市松浦町8-10）
- 富山支店（富山県富山市金屋3783-8）
- 金沢営業所（石川県金沢市木越町ホ-68）
- 東京支店（東京都品川区南大井5-22-12）
- 虎ノ門オフィス（東京都港区虎ノ門3-7-12）
- 下吉川事業所（富山県富山市婦中町下吉川517）
- 池多事業所（富山県富山市池多1831-1）
- 不二越東富山事業所（富山県富山市米田10）



本社・吉谷事業所



営業拠点・虎ノ門オフィス

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ブランドスローガン・エリアマップ

めぐる、いのちの地へ。

「廃棄物」は人類が積み上げてきた文明の結晶であり、同時に、文明が必ず生み出す「終わり」でもあります。富山環境整備は、その終わりを引き受ける場所です。





廃棄物処理



プラスチックリサイクル

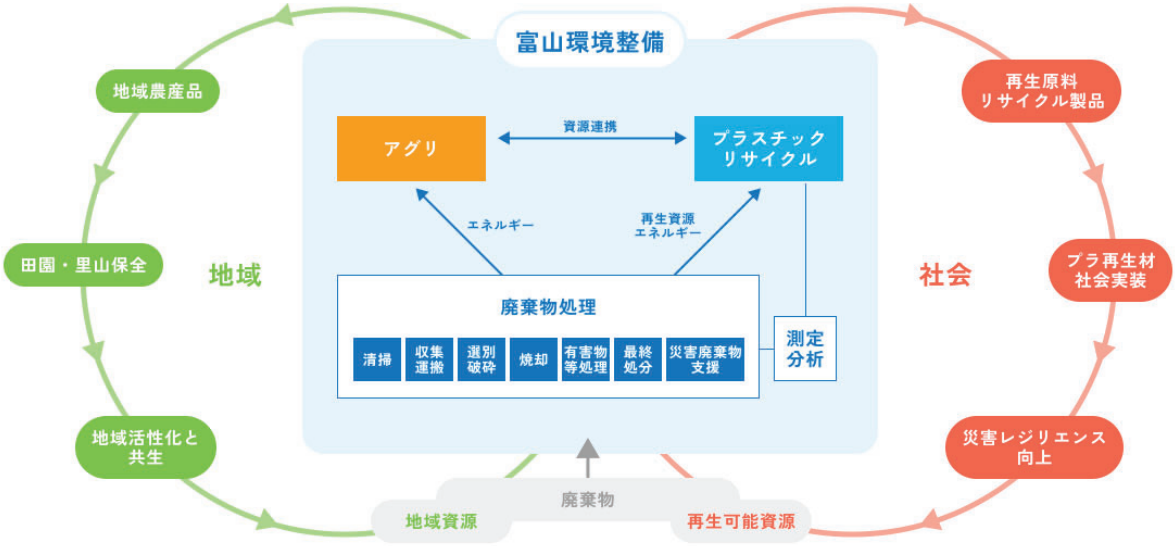


アグリ・地域振興

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

事業内容　～あらゆる資源がめぐり、次の価値へつながる起点に～

廃棄物処理を原点に、プラスチックリサイクル、アグリへ。
あらゆる資源の「次の価値」を見出し、新たな循環を生み出す。

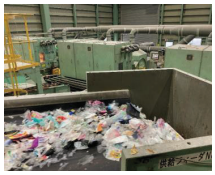
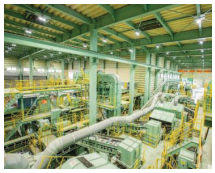


Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2.プラスチック一括回収実施に向けたご提案

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

プラスチックリサイクル事業年表



年	国内の動き	富山環境整備の動き　※斜字は機械設備名
2000	容器包装リサイクル法　完全施行	・原料製造第1工場（再商品化）施設設置、*比重分離・遠心分離導入* ・パレット成型施設設置、パレット販売開始
2008	改正容器包装リサイクル法全面施行	・原料製造第4工場（再商品化）設置（第1工場を統合）
2013		・原料製造第4工場（再商品化）、*光学選別機9台導入*
2015		・原料製造第5工場（再商品化）設置、*光学選別機10台導入*
2016		・ペレット製造工場設置、ペレット外部販売開始 ・物性試験装置導入（*引張・衝撃・MFR・純度等*）
2019	プラスチック資源循環戦略策定	
2020		・コロナ禍による一般廃棄物（容リプラ）搬入増 ・リチウムイオン電池発火トラブルの急増　取扱実績：約2.８万トン
2022	プラスチック資源循環促進法施行	・大型ソーティングセンター（高度選別センター）設置 *品質管理用アナライザー2台・光学選別機9台導入*　取扱実績：約2.9万トン
2023		・再生材の国内循環に向けた本格検討を開始（SIP） ・原料製造第6工場（旧 高度選別センター）設置　取扱実績：約3.3万トン
2024		・取り扱い能力の拡大に向け、各工場の増強を開始。ペレット製造工場増設 ・リチウムイオン電池発火トラブル対策として、各選別工場投入ラインに*高磁力マグネットプーリー*を順次設置　取扱実績：約6万トン
2025	再資源化事業等高度化法　施行 資源有効利用促進法改正	・異物、臭気課題対応のため、*洗浄ライン*設置 ・*光学選別機能力増強、再生樹脂製造押出機増設*　取扱実績：10万トン超
2026		・環境省　集約拠点FS参加、ケミカルリサイクル実証採択 ・工場改装　取扱予定：7万トン超

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

33条一括回収の実施状況

富山県は全15市町村のうち、3市3組合（14市町村）が33条認定による一括回収を開始。
回収したプラスチック資源を富山環境整備で再資源化しています。

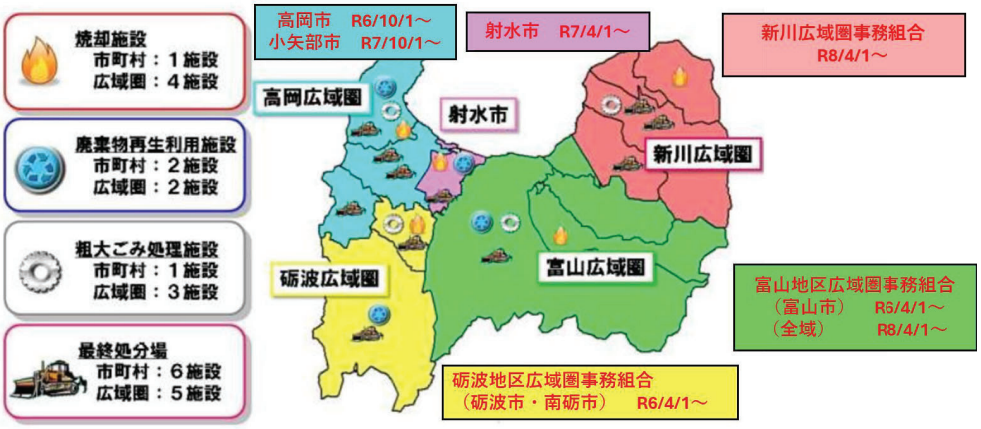


図２－21　一般廃棄物処理施設の整備状況

出典：富山県廃棄物処理計画（とやま廃棄物プラン）一般廃棄物処理施設の整備状況に追記

＜2026年度受入量＞
33条認定：14自治体/容リ協会委託分：39自治体

33条認定状況

都道府県	実施自治体
富山県	高岡市
	砺波広域圏事務組合
	射水市
	小矢部市
	新川広域圏事務組合
	富山地区広域圏事務組合
京都府	亀岡市
	船井郡衛生管理組合
岐阜県	飛騨市
愛知県	安城市
	岩倉市
長野県	安曇野市
東京都	練馬区
大阪府	泉北環境整備施設組合※
合計	25市区町村

※容リプラのみ取り扱い

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

富山環境整備の強み

富山環境整備では、住民に分かりやすい資源循環の見える化と、地域住民と共につくる、脱炭素社会・持続可能な資源循環体制を応援しています。

全国トップクラスの大規模かつ先進プラント



- 1拠点で一括受入
- 破袋・除袋・選別は不要
- 選別施設の一体化・合理化を実現
- 保管施設の省人化に寄与

初期調査から実施までを伴走型でトータルサポート



- 33条認定の申請書作成を支援
- 認定後の運用管理から更新手続まで一貫して対応

営業サポート・運搬業者とのネットワークによる全国対応



- 東日本・西日本からアクセスしやすい立地
- 富山と東京のサポート体制を確立

高品質な再生材で「市民に分かりやすいリサイクル」



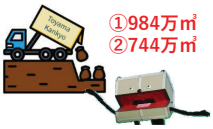
- グリーン購入、再生品の購入・利用など、リサイクル製品の活用を共に啓発
- **『分かりやすいリサイクル』**を実現

たゆまぬ技術開発で国内をリード



- 動脈企業、産官学連携での技術開発を継続して実施
- リサイクルのフロントランナーとして業界をけん引

信頼と実績のある処理施設で万が一の際も安心



- **国内最大級の管理型最終処分場**を保有
- 長期的、安定的な廃棄物処理。災害協定の締結も可能

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3. 技術開発と資源循環促進の取り組み状況

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

プラスチック資源のリサイクルフロー

生活者が分別



プラスチック資源
排出



容器包装プラスチック



製品プラスチック

一括回収

自治体の事業範囲
（保管・選別施設）



地域ステーションからの回収



異物除去※
（その他プラスチック以外の素材）



富山環境整備の事業範囲
材料リサイクル（選別・破砕・洗浄・造粒）







光学選別



比重分離



洗浄・脱水

光学選別、比重分離、風力選別などの工程を組み合わせて単一素材に選別しています。洗浄により付着汚れを除去しています。

材料利用
（マテリアルリサイクル）



押出機



再生樹脂
（PP・PE・PS）

他工程利用
（主に熱回収）



固形燃料



ベール（フラフ）



・成型製品（パレット、敷板、擬木、ウッドデッキ、園芸プランター等）
・コンパウンド原料



・自社熱回収用燃料
・セメント原料
・RPF等

※プラスチック資源循環法33条においては自治体と再商品化事業者で「選別」「圧縮」などの工程を合理化・一本化が可能。

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

再生樹脂ペレット製造フロー

1 受け入れ



容器包装リサイクル法及びプラ資源循環促進法第33条の再商品化計画に基づき、各自治体で回収されたプラスチックのベールが全国約100の自治体から当社に搬入されます。

2 選別 進化①



• 長年の処理ノウハウを活かした選別プラント
2000年からプラスチックリサイクルに取り組む中で培ってきたノウハウを活かし、複数の選別工程を経て、混在する素材を高精度に分別します。



• 近赤外線・AI画像識別技術を活用
近赤外線による素材識別に加え、AI画像識別技術の活用を進めることで、素材の種類や状態をより的確に判別します。

3 破砕



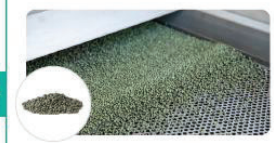
選別したプラスチックを、再資源化に適した大きさへ破砕します。素材の状態や用途に応じて粒度を整えることで、洗浄・比重分離・造粒など後工程での処理効率を高めます。

4 洗浄 進化②



破砕したプラスチックを洗浄し、付着した汚れや異物を除去します。さらに比重分離により、素材ごとの特性を活かして分別精度を高めます。

5 造粒 進化③



洗浄工程を経たプラスチックを溶融・押出し、再生ペレットへと加工します。造粒時にも異物を取り除き、粒径や品質を管理することで、各種プラスチック製品の原料として活用できる安定した品質に仕上げます。



PPペレット



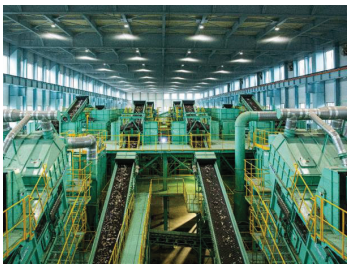
PEペレット



PSペレット

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

進化ポイント①　受け入れ量拡大に向けた選別能力の拡大（2024年～）

課　　題	進化ポイント
	
➢ 年間最大8万6千トンの処理能力 ➢ 設置から10年以上が経過し、設備更新が必要 ➢ 受け入れを継続しながら設備更新を進める体制の構築が必要 ➢ 高品質なリサイクル材の製造に向けた設備の高度化が必要	➢ 施設の設置により年間最大17万トンの取り扱いが可能 ➢ 製品プラスチックにも対応する大型開梱機を導入 ➢ 複数工場体制により、受け入れを継続しながら順次改装できる体制を構築

処理能力の拡大と、高品質化に向けた設備更新を両立できる体制を構築。

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

進化ポイント②　洗浄・脱水工程の改善（2025年～）

課　　題	進化ポイント
 	 
➢ 選別工場と一体型の設備構成 ➢ 洗浄は1回のみで、食品汚れの除去が不十分 ➢ 洗浄水を水質管理しながら連続的に循環利用	➢ 選別工場と洗浄工程を切り離した設備設計 ➢ 工業用水を導入し、安定した洗浄水量を確保 ➢ 洗浄・脱水を組み合わせた3段階の洗浄工程を採用 ➢ 洗浄水を次工程へ持ち込まない設計により、汚れの再付着を抑制

洗浄水の管理と工程設計を見直し、汚れの除去性能を向上。

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

進化ポイント②　洗浄・脱水工程の改善（2025年～）

課　　題



- 大容量の処理が可能な一方、混練不足や異物除去性能に課題
- フィルターが1カ所のみで、目視できる大きさの異物が残存
- パレット向け材料には対応できるものの、消費財向け製品への用途拡大には機能強化が必要

進化ポイント



- 二軸一軸タンデム式押出機を採用し、混練・分散性能を強化
- 異物除去フィルターを2カ所に配置し、異物除去を2段階で実施
- ベント（脱気口）を複数配置し、揮発成分を除去する機能を強化

混練・異物除去・脱揮機能を強化し、パレット向け材料から、ごみ袋などの薄物製品へ用途を拡大。
要求品質に応じた材料の作り分けを実現。

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

（再生材利用促進）再生材の用途拡大を目指して

製　　品　　例



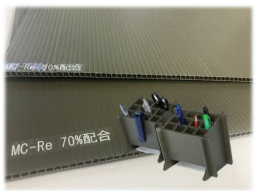
パレット



プラ板



ごみ袋



プラ段ボール



鉢ポット



バケツ



うちわ



緩衝材

再生材の価値向上と用途拡大を通じて、新たな需要の創出を目指しています。
ともに広げていただけるメーカー・自治体様を募集しています。

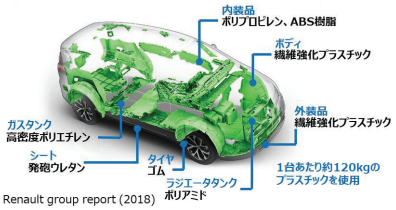
Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

（調査・実証協力）用途拡大と市場形成に向けた技術開発

【技術開発】ELV規則への対応を見据え、高品質な再生材を用いた自動車部品の開発・品質評価及びCO_2排出量削減効果の検証に取り組んでいます。

（内閣府）SIP「サーキュラーシステムの構築」
テーマ：「B1」高品位再生プラスチック材料の製造プロセス開発
実施期間：2023年8月～2028年3月（予定）

（環境省）令和7年度脱炭素型循環経済システム構築促進事業（うち、プラスチック等資源循環システム構築実証事業）
テーマ：容器包装廃プラスチックの自動車内装部品へのリサイクル実証
実施期間： 2025年9月～2028年3月（予定）



出典：ルノーグループの資料を基に（独）環境再生保全機構が一部改変

【調査・実証】回収量拡大や消費者の行動変容に関する調査・実証への協力を通じて、再生材の安定供給と需要創出につながる国内資源循環の基盤形成に取り組んでいます。

（環境省）プラスチック資源分別回収に関する実証事業
テーマ：プラスチック使用製品の回収率と収率向上に関する調査・検討
実施年度：2025年度

（経済産業省）令和8年度資源自律経済確立産官学連携加速化事業費
テーマ：プラスチック容器包装における再生材の利用拡大に向けた実証事業
（委託先：株式会社三菱総合研究所）協力
実施年度：2026年度



出典：令和7年10月15日 富山市定例市長記者会見（https://www.city.toyama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/018/005/20251015kaikensiryou.pdf）

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

富山環境整備が目指す姿　～生活に再生材が”あたりまえ”となる社会～



GOOD DESIGN AWARD 2026

暮らしから出るプラスチックを再生し、新たな製品として再び暮らしへ。
富山環境整備は、自治体・リサイクラー・メーカーの連携により、豊かな暮らしと持続可能な社会を目指す資源循環システムの実現に取り組んでいます。

Copyright© Toyama Kankyo Seibi Co.,Ltd. All Rights Reserved.

めぐる、いのちの地へ。

富山環境整備